

産業建設常任委員会

委員長 八田 吉喜

◆高島市下水道条例の一部を改正する条例案ほか21件を審査

今期定例会において、当委員会が付託を受けた条例案件22件の審査を行うため、9月6日に産業建設常任委員会を開催しました。

議第85号「高島市下水道条例の一部を改正する条例案」他2件は、第2次一括法により下水道法の一部改正が行われたため、国と同じ基準を条例に定めるものです。

議第87号「高島市グリーンパーク想い出の森施設」の設置および管理に関する条例案」他15件は、指定管理者制度を導入している他の施設との整合を図るため、指定管理者に係る標準条例に合わせた改正を行うほか、指定管理者から納付金を徴収できる条文の追加や、休館日の統一などを定めるものです。

いすれの議案も慎重に審査した結果、全員賛成で「可決すべきもの」と決定しました。

◆管外研修報告について

当委員会では、去る7月26日・27日の両日、国土交通省道路局および鉄道局へ、高島市における道路事業ならびに鉄道事業の整備方針や整備予算等がどのように基礎自治体に配分されるのか、委員の識見を高めるため、管外研修を実施しました。

道路局では、高島市を縦横断する国道161号、国道303号および国道367号については、市民生活や産業・観光振興など地域経済を支える重要な道路でもあり、あつてはならないことですが、福井県内の原子力発電所において放射線漏れ等の事故があった場合の避難や退去、将来的に発生が懸念されます琵琶湖西岸断層帯や花折断層による地震災害の発生時には、緊急避難道路および輸送道路としての役割は、非常に大きいものがあり、一日も早い整

備を要望しました。道路局からは高島市の国道、県道、市道の整備に対する国からの助成、いわゆる「社会資本整備総合交付金」の交付についての説明を受けました。委員からは、原子力

発電所の事故や地震災害時における国道161号の緊急避難道路としての役割は大きいので早期の要望を求める意見が多く出ました。

次に、鉄道局では、通勤・通学および観光振興ならびに若者の定住促進といった観点から、



国土交通省鉄道局での研修

- ① JR湖西線のバリアフリー化や近江舞子以北の運行ダイヤの充実
②琵琶湖環状線における近江今津駅から米原駅間の運行ダイヤの充実と近江塩津駅での乗換解消の機能向上
③北陸新幹線の敦賀から新大阪間のフリーゲージトレインの暫定ではなく恒常化

といったことを要望しましたが、鉄道局からの回答は、JR各社に要望しますに留まりました。また、研修の帰路については、JR湖西線とJR北陸本線との連航ダイヤがどのようになっているのか現状を把握するため、米原から近江塩津經由で帰りました。利用時間にもよりますが、京都駅經由よりも早く帰庁することができました。今後は、JRに対して、運行ダイヤの充実と近江塩津駅での乗換解消の機能向上を強く要望していきます。

決算特別委員会

委員長 澤本 長俊

◆平成23年度 12会計の決算を認定

～とりなる財政状況改善に期待～

平成23年度高島市一般会計、特別会計および事業会計の全12会計について、17名の委員による決算特別委員会を設置し、9月24日・25日の2日間にわたり審査を行いました。

委員会では、予算が適正に執行されているか、行政効果や経済効果などを評価。また、新年度予算編成や市政に生かすべき課題についても積極的に提案を行い、1会計は「可決および認定すべきもの」他11会計は「認定すべきもの」と決定しました。

審査では、市税の未収金対策、財政運営に直結する諸問題への中長期的な事業展開等に多くの議論がありました。

普通会計の歳出総額は、2803億4千220

途をたどる社会保障費の財源確保など、一層厳しい財政状況にあることに変わりはなく、改革の手を緩めることなくこれまで以上に積極的な財源の確保と、効果的な事業の展開を図る必要があります。

また、平成23年度病院事業会計は、3年連続で黒字となり、単年度の純

利益2千563万円を計上しました。今後も、累積赤字の解消や医師・看護師不足の対応など、新病院においても、地域医療の中核病院として診療所等との医療連携を一層強化し、更なる経営の効率化・健全化と医療サービスの向上が求められます。

予算常任委員会

委員長 澤本 長俊

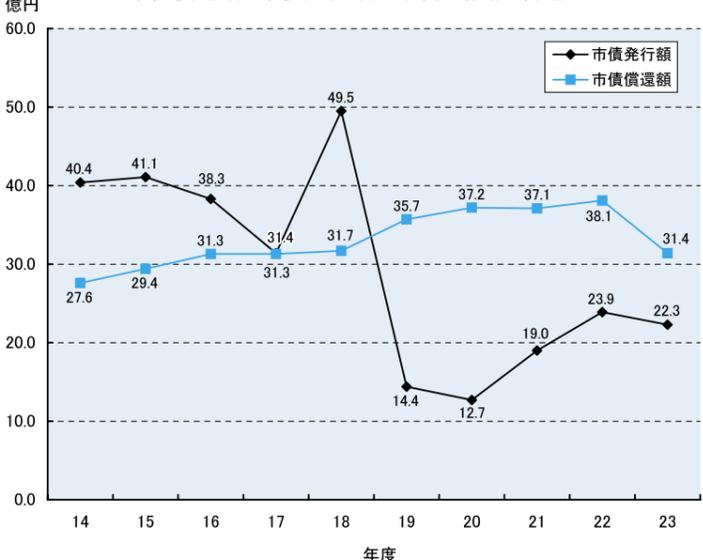
◆福祉施設建設費借入金償還補助や原子力防災対策用資機材整備費および通学路補修工事費等を審査

今期定例会において、当委員会が付託を受けた平成24年度一般会計補正予算1件、後期高齢者医療事業特別会計補正予算1件および病院事業会計補正予算1件の審査を行うため、9月20日に予算常任委員会を開催しました。

- ◆今回の補正予算案は、社会福祉法人に対する施設整備費償還補助をはじめ、原子力防災対策用資機材整備費、一斉点検に対応した小中学校の通学路補修工事費などが計上されました。

- ◆採決の結果、付託を受けた平成24年度一般会計補正予算、および平成24年度高島市後期高齢者医療事業特別会計補正予算は賛成多数で、高島市病院事業会計補正予算は全員賛成で、いずれも

市債償還額と市債発行額の年度別推移(普通会計)



- ◆放射線測定器や防護服等購入に係る原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業 (1,603万1千円)
- ◆通学路安全点検に対応した小中学校通学路補修工事費 (1,216万6千円)
- ◆個別受信機に係る防災行政無線整備事業 聴・雑音対策事業 (2,300万円)
- ◆安曇川町田中地先の獣害防止柵整備工事費 (1,400万円)